

PAT-NO: JP407096046A
DOCUMENT- JP 07096046 A
IDENTIFIER:
TITLE: HELMET TRANSPARENT IN FRONT HEAD PART AND ITS
PRODUCTION
PUBN-DATE: April 11, 1995

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY
SHIRATO, ATSUSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY
TAISEI CORP N/A

APPL-NO: JP05243108
APPL-DATE: September 29, 1993

INT-CL (IPC): A62B018/00 , B29C051/12

ABSTRACT:

PURPOSE: To enable a user to sufficiently assure a visual field to a forward upper side and to assure the safety of work at the time of wearing by providing the helmet with a transparent front head part, thereby constituting the helmet.

CONSTITUTION: This helmet 1 is formed to the same shape as the shape of the conventional helmet for work (type collared over the entire periphery) by using a thermoplastic resin (for example, a polycarbonate) which is transparent and has high impact resistance. The front head part (including the front side part of the collar) 11 is made to remain without coating after the molding and a coating for light shielding is applied on the inner side of the middle rear head part (including the part exclusive of the front side of the collar) 12. The coating is executed by spraying a plastic as a coating material to the inner side of the helmet 1 in the state of covering the front head part 11 or by other methods. The user is able to sufficiently assure the visual field to the forward upper side at the time of wearing according to such helmet and, therefore, the safety of the work on a construction site is assured.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-96046

(43) 公開日 平成7年(1995)4月11日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 2 B 18/00		9128-2E		
B 2 9 C 51/12		7421-4F		

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願平5-243108

(22) 出願日 平成5年(1993)9月29日

(71) 出願人 000206211

大成建設株式会社

東京都新宿区西新宿一丁目25番1号

(72) 発明者 白土 篤

東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 大成
建設株式会社内

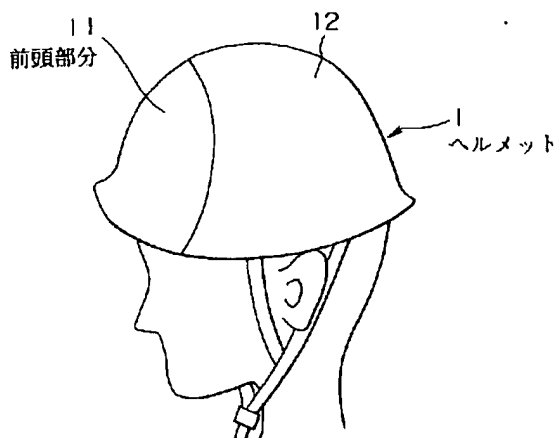
(74) 代理人 弁理士 森 哲也 (外2名)

(54) 【発明の名称】 前頭部分が透明なヘルメットとその製造方法

(57) 【要約】

【目的】 前方上側への視野が十分に確保されるヘルメットを提供する。

【構成】 ヘルメット1をポリカーボネートで成形し、中後頭部分12の内側に遮光用の塗装を施した。これにより、ヘルメット1の前頭部分11を透明とした。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 透明な前頭部分を備えたことを特徴とするヘルメット。

【請求項2】 透明な材料で帽子状の本体を形成し、この本体の所定部分の内側に遮光用の塗装を施すことを特徴とする前頭部分が透明なヘルメットの製造方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は建築現場等で使用されるヘルメットとその製造方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】建築現場においてはヘルメットを被ることが義務付けられているが、単管パイプ足場や建柱足場内を通る際に、頭上にあるパイプや横木にヘルメットをぶつけることが多く、衝撃が強い場合には軽い鞭打ち状態になることもあって危険であった。このような事故は自身の方不注意により生じるものではあるが、ヘルメットを被っているために前方上側への視線がヘルメットで狭められることもその一因であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、このような従来技術の問題点に着目してなされたものであり、前方上側への視野が十分に確保されるヘルメットを提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1は、透明な前頭部分を備えたことを特徴とするヘルメットを提供する。請求項2は、透明な材料で帽子状の本体を形成し、この本体の所定部分の内側に遮光用の塗装を施すことを特徴とする前頭部分が透明なヘルメットの製造方法を提供する。

【0005】

【作用】請求項1のヘルメットによれば、透明な前頭部分を備えたために、使用状態で前方上側への視野を十分に確保することができる。請求項2の方法によれば、透明な材料で帽子状の本体を形成し、この本体の所定部分

の内側に遮光用の塗装を施すため、前記所定部分を前頭部分以外の部分とすれば、請求項1の前頭部分が透明なヘルメットが容易に作製できる。また、この方法により作製されたヘルメットは、遮光用の塗装が内側から施してあるため、外面を何かにぶつけた際に塗装が剥離しない。

【0006】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図面に基づき説明する。図1はこの実施例のヘルメットを示す側面図である。このヘルメット1は、透明で耐衝撃性の高い熱可塑性樹脂（例えば、ポリカーボネート）で、従来の作業用ヘルメット（全周に鍔が付いたタイプ）と同じ形状に成形され、前頭部分（鍔の前側部分も含む）11は塗装せずに、中後頭部分（鍔の前側以外の部分も含む）12は内側に遮光用の塗装が施してある。この塗装は、前頭部分11を覆った状態でヘルメット1の内側にプラスチック用の塗料を吹きつけること等により行われる。

【0007】このヘルメット1によれば、使用状態で前方上側への視野を十分に確保することができる。また、遮光用の塗装が内側から施してあるため、外面を何かにぶつけても塗装が剥離しないという利点もある。なお、本発明はこの実施例に限定されず、従来の作業用ヘルメットと同じ材料で中後頭部分12を形成し、これに、ポリカーボネートのような透明部材で成形した前頭部分11を取りつけたものであってもよい。

【0008】

【発明の効果】以上説明してきたように、本発明の前頭部分が透明なヘルメットによれば、使用状態で前方上側への視野を十分に確保することができるため、建築現場において、頭上にあるパイプや横木にヘルメットをぶつけることが少なくなり、作業の安全性が確保される。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す側面図である。

【符号の説明】

- 1 ヘルメット
11 前頭部分

【図1】

